

開催日	平成20年6月17日(火) 18:30～21:00
出席者	区民12名・四谷特別出張所長・地区協議会担当職員
テーマ	「テーマ別情報収集班」のグループ分けと方向性について 他
5月の副都心線見学会を振り返って	
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業圏が新宿3丁目に移ってきたように思える。</li> <li>・改札を出た後の方向がわからない。(地上物の想像ができない)</li> <li>・自分がどこにいるのかわからない。わかりやすいサインをつけて欲しい。</li> <li>・直接四谷に出る出口はないが、四谷方面であるというサインもあるとよいのではないか。</li> <li>・具体的な提案ではなく、もっとわかりやすい表示を検討して欲しいという要望を出したい。 見学会をコーディネートした委員経由で検討する。</li> </ul>
「テーマ別情報収集班」のグループ分けと方向性(意見交換)	
テーマ別活動について	<p>意見 第1分科会のテーマとは何か？分割してしまうと力が弱まるのではいか？ 今動いている活動をピックアップした。他のテーマも臨機応変に検討していく。 情報収集等少人数でフットワークよく活動できるようにしたが、大きな力が必要な時には協力する。</p> <p>意見 発表会などを取り決めると活動が苦痛に感じてしまう。 来年5月には協議会は第3期を迎える。これも視野に入れて活動のまとめは何らかの形が必要ではないか。しかし、大きな発表会ではなく、分科会内で発表(報告)する感じで負担に思わない程度を検討していけばよいのではないか。必要ならば大きな発表の場につなげる。</p> <p>意見 地域バスを肯定することを懸念する。その前段階を検討するのが第1分科会ではないか？ 地域バス以前に四谷の交通体系を話し合いたい。 地域バスを計画通りに進ませることが目的ではない。むしろ問題点も掘り下げていくことも大切であるとする。ぜひそのような意見を投げかけて欲しい。</p> <p>意見 まちづくりをしていくことが大切であるが、都市マスタープランに縛られ過ぎずにいたい。 四谷のまちづくりを検証していくことが必要。考え方や理念だけではなく、実際にアクションを起こすことが大切だと考える。その方向性で進みたいのでグルーピング化を試みた。</p>
玉川上水を偲ぶ川の流れの創出	<p>担当委員を決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史博物館ボランティア資料を活用する。</li> <li>・新宿区の計画との関わり合い方を検討する。(管理、運営も含め)</li> </ul>
四谷を走る地域バス	<p>担当委員を決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域バスは勉強会が既成事実として存在する。 関わり方は要検討</li> </ul>
四谷を考えるシンポジウム(勉強会)	<p>担当委員を決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会だけではなく、広く四谷地域全体に呼びかける企画としていきたい。</li> <li>・第1分科会委員は協力体制をとる。 最終的には協議会として開催する。</li> </ul>
各グループ共通事項	<p>運営は資料集め、勉強会 → 定例会議内での進捗状況の報告 → 年度内に成果のまとめをする</p> <p>対外的に協議会としての意見を述べるような時には 役員会の決議を受ける。(補足)</p> <p>発表・報告会の場を作る      レポート等</p>
他 上記のテーマ以外の検討(勉強)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの視点から見た四谷のまちづくりを考える「ミニムンヘン」四谷 を検討(勉強)していく。(次回案)</li> <li>・ミニムンヘンの勉強、都市デザインをALL四谷(他団体と協働)で考えていければよいのではないか。</li> <li>・自転車専用レーンの設置を検討していきたい。(都道・国道対象)</li> <li>・暮らしの不便を実際にまちを歩き検証していくことも検討したい。</li> </ul>
次回日程	<p>お宝さがし実行委員会 7月1日(火) 18:30～ 四谷特別出張所 会議室</p> <p>第1分科会 7月15日(火) 18:30～ 四谷特別出張所 会議室</p>